

Mランドニュース Vol.216

丹波ささ山校 令和7年4月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 近藤 正幸
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

やがてくる
それぞれの交差点を
迷いの中
立ち止まるけど
それでも人はまた歩き出す

TAKURO

Mランドに春の笑顔咲く

営業部

後藤 茂



どれにしようかな～

Mランドでは恒例のイベントですが、お越しになるゲストのほとんどが、初めて自動車教習所を訪れる方々です。期待と不安が入り混じる中、

今年もひな祭りとお花見の日に、ゲストの皆様へ感謝の気持ちを込めて、やさやかなプレゼントをお贈りしました。色とりどりのお菓子やひなあられ、そしてインストラクターからの温かいメッセージを添えて。プレゼントを手にした皆様の笑顔は、私たちに何よりの喜びです。楽しそうにお菓子を選ぶ姿や、メッセージを真剣に読んでいる姿が印象に残っております。

大切な春休みを使ってMランドを選んでくださったこと、心から感謝申し上げます。中には、学生生活最後の春休みをMランドで過ごされる方もいらっしゃると思います。「ありがとうございます！」「もういいんですか？」「ありがとうございます！」



ありがとうございます！

受付でお渡しする際、そんな嬉しい言葉と笑顔がたくさんいただきました。私たちもまた、皆様の笑顔に元気をいただきました。春は新たなスタートの季節です。Mランドで学んだ技能や知識、そして運転者としての「心」が、皆様の未来を安全に、そしてより素晴らしいものにする一助となれば幸いです。



すべてメッセージ付き

思い出、そして夢へ

先日、卒業生の橋本みと様から、心のこもったお手紙が届きました。Mランドでの教習生活を通して感じたこと、そしてインストラクターへの感謝の気持ちが綴られており、私たちスタッフ一同、胸が熱くなりました。

橋本様は、看護師と助産師の国家試験直後にMランドでの合宿に参加されました。多忙な日々から解放され、Mランドの美しい景色と温かいスタッフに癒されたと感じられています。

「教習では、最初はカーブをうまく曲がるのが難しく、S字コースやクランクコース、方向変換もなかなかできませんでした。個性豊かで親しみやすいインストラクターの皆さまが分かりやすく教えてくださったおかげで、少しずつコツをつかめるようになりました。中でも、何度も担当してくださった佐古田インストラクターには本当に感謝しています！」

入所初日に車を運転するとは思っておらず、驚きと怖さどとても緊張していたのですが、教習中の何気ない会

話が楽しく緊張がほぐれました。うまくいかないときも励ましてくださって、前向きな気持ちで取り組めました。最後まで根気強く教えていただき、卒業検定の日も応援ありがとうございました！」

橋本様は、「いつか田舎で暮らしたいという夢があるので、免許を取ったことでその夢にも少し近づきました。」と綴られています。

橋本様の夢が叶うよう、Mランドはこれからも応援しています。



届いたお手紙です

三・一一に心を寄せて

共習・共育部

部長 南勝 宏幸

令和七年三月十一日、東日本大震災が発生してから十四年の月日が経ちます。

東日本大震災の発生時、十四時四十六分には皆さまと同じように教習をしている途中に被災し、尊い命を失われた方もいます。今、私たちは元気に生活ができていますが、決して当たり前ではないことをもう一度考えさせてくれる日でもあります。

今日ここで皆さまと一緒にこの場所でお会いしたことも何かの縁です。私たちMランドでは、「ありがとう」が飛び交う教習所を目指して様々なことに取り組んでおります。今、命があること、両親や友人はもとより、小さなありがたいことに感謝し、これからも前を向いてがんばりましょう。



黙 禱

皆さまと一緒に黙禱を捧げました。

震災から十四年が経過した今も、被災地では復興への道のりが続いています。私たちにできることは限られていますが、風化させることなくあの日を忘れないことが大切だと考えています。

東北の人々は今を生き、未来を描く。どんな形になるのか、どれだけ時間がかかるのか分かりませんが、Mランドはずっとずっと見守り応援したいです。

ありがとうございます。

お陰様で十九周年

代表取締役社長

井階 正義

平成十八年三月二十一日に、我校で初めての宿泊施設「プチホテルハーモニー」と「カフェミロ」がオープンしました。



プチホテル ハーモニー

昭和三十七年の開校以来、通学校として多くのお客様にお越しいただきましたが、平成に入りバブルが崩壊し、少子化も徐々に進む中、平成十七年五月にMランド益田校の姉妹校となりました。当時の小河二郎会長が進められたのが、合宿校への転換でした。そのために、自前の宿泊施設や食事を提供する施設を創り、施設名称、営業方針、備品調達等の準備を進めてまいりました。

「自分たちでも何かを！」

と、ハーモニー各部屋(十二部屋)全てのトイレの壁を職員で塗りました。今も健在です。たくさんのお客様にご滞在いただき、繁閑問わず人気の宿泊施設となりました。入所時は知らない者同士でも、仲間意識や目標を同じとする者同士、自然と意気投合し、共に食事をしたり、勉強をする風景をよく目にいたします。ハーモニーには、斯くの如く、目に見えない力がゲストに働いているようです。

カフェ・ミロもたくさんのお客様に喜んでいただいております。滞在期間中、同じメニューにならないよう、ゲスト

の健康管理にも気を配りながら心のこもった料理を提供しております。最近では、近隣住民の方を始め、常連のお客様にご利用いただいております。



いただきます

本年、五月二十七日でMランドとなって創立二十周年を迎えます。これからもゲストとともに生成発展してまいります。応援よろしくお願いたします。

たくさんありがとうございます

Mランドのスタッフに、心温まる『ありがとうございますカード』がたくさん届きました。ゲストからゲストへ、インストラクターからゲストへ、そしてゲストからインストラクターへ。そこには、『見つけてください、美しい心』という共通のメッセージとともに、たくさ

んの感謝の言葉が綴られていました。



投函ボックス

たくさん温かいメッセージが届き、Mランド全体が温かい気持ちで包まれました。「ありがとうございますカード」はMランドの血流です。これらのメ

ッセージは、Mランドでの教習生活が、単に運転技術を習得するだけでなく、人と人との心の触れ合いを通して、互いに成長できる場所であることを改めて教えてくれます。カードを読んだスタッフは自然と笑顔になりました。Mランドでは、これからも『ありがとうございます』の気持ちを大切に、一人ひとりが安心して教習を受けられる環境づくりを努めてまいります。

卒業されたゲストの方々にいただいたありがとうございますカードを二枚紹介いたします。

すべての皆様

今朝、初めて校内掃除に取り組みました。机の上の消しゴムのカスや床にたまった髪の毛の掃除、消毒をしている内にももちろん教習所の方々に対してもですが、日頃私たちの学習環境をきれいにしてくださっている大学の清掃員の方々への感謝の気持ちがこみあげてきました。いつも本当にありがとうございます。これからもきれいに使わせていただきます。よろしくお願いたします!(大学の次の学期に直接伝えたいと思います)

中村 燦

受付スタッフの皆様

お疲れ様です!いつも笑顔で対応してくださってありがとうございます。コンプラギリギリかもしれませんが、笑顔が素敵でかわいい方しかいらっしやらないので毎度暖かい気持ちでロビーに居られます。また、質問にあたってくださった方々、無知な私に優しく解説してくださってありがとうございました。お名前も完全に全員知ってお礼を申し上げたかったです。がそれができないことが唯一の心残りです。

野間 夏美

編集後記

今回もMランドニュースの編集を担当させていただきました。お気づきの方もいらっしゃるかと存じますが、前号から代理で担当が変わり、今回で二回目となります。前回の発行では、担当が変わったにもかかわらず編集後記にてご挨拶することができず、読者の皆様にご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。限られた字数の中で、伝えたいことを全て盛り込むのは大変でしたが、Mランドニュースを通していろいろな出来事や魅力を少しでもお伝えできていれば幸いです。これからもMランドニュースをよろしくお願いたします。

近藤 正幸

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか?

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。